

中学校周辺伐採完了



第746号

発行人 ● 豊丘村公民館
館長 市澤和宏
編集人 ● 長野県下伊那郡
豊丘村公民館報
編集委員会
0265-35-9066
印刷所 ● 龍共印刷株式会社

私たちの村

(4月1日現在 ※外国人を含む)
男 3,293人
女 3,303人
総人口 6,596人
世帯数 2,229戸

三月一日に令和四年度の最終回となる第十回公民館学習会が開催されました。今回は、下伊那厚生病院の管理栄養士・黒沢愛子先生を講師にお迎えし、「減塩教室」美味しく塩分減らしましょう」と題した講演



公民館
学習会

減塩教室

3月1日



をいただきました。まずは減塩の大切さについて、生理学的なお話を聞きました。塩分を取り過ぎると高血圧になるメカニズム、長野県は地理的、歴史的要因から全国的にみても塩分摂取量が多いこと、普通の生活を送っていれば塩分不足になることはないことを学びました。そして、日常の食事において塩分過多にならないように気を付けるポイントも伺いました。

みそ汁は具材を多くし、野菜のうまみを生かして味噌の使用量を減らすこと、味付けはなるべく食材の外側に施すことで味を強く感じられること、塩味以外の酸味や辛味を利用することなどです。ポテトチップスは、芋を油で揚げているのでカロリー的には健康に悪いと感じられますが、外側に味付けされているため塩分量的にはロースハムの約六分の一程度しかないと驚

きました。最後に、女性に不足しがちなカルシウムを取りながら減塩もできるメニューをいくつかご紹介いただきました。卵かけご飯の減塩ポイントを押さえた食べ方も教えていただきましたので、さっそく今後の食生活の改善に生かしていけたらと考えています。



(公民館主事 菅沼智子)



輝丘たる
学び舎に
提案者
宮下 公(柿外士)



月より署名活動を始めた。未来塾で毎週中学へ行っていたが、どの階からも下段や高森、天竜川は、木々が高い壁となつてほとんど見えずにいた。これはPTAにも呼びかけて署名を仰ぐべきと考え、校長先生にお願いして、参観日に署名の協力を依頼することとなった。

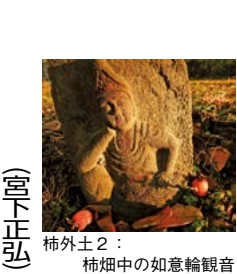
署名は、校舎の見える田村、河野方面に絞り、約千名近くの方々に協力いただくことができた。十二月、村長へ署名を渡し、立地を生かした学び舎とするためにぜひ伐採をとお願ひした。村長さんにもご賛同いただきました。昨春秋より現地調査を行い、十一月より産業振興課と森林組合の皆さまのご努力により、間伐・整備作業が着々と行われた。そして本年一月末に八割がた整備

を終えることができた。校歌にあるように、白亜の校舎がくつきりと見えるようになった。完全ではないものの、開校当初の姿に近づきつつある。これにより、毛涯先生が願われた玄関前の石碑「高志輝丘」の実現が一層望まれるところである。

さらに嬉しいことは、鬱蒼として暗かった通学路「四季の道」が明るくなり、安全に通学できるようになったことである。欲を言えば、玄関からの数本の杉が伐られ



明るくなった「四季の道」



(宮下正弘)

柿外士2:
柿畑中の如意輪観音

人には自分で決めた言葉『座右の銘』があると思うが、自分にもそれほど大袈裟ではなくても大切な銘がある。それは『平常心』。この言葉は宮本武蔵が日頃から唱えていたであろう言葉として、思い上がったたり特別な感情をむき出しにしないように日常を過ごすこと。これも年代によって平常心の意味が違ってきた。若い時はガムシヤに色々なことを覚えることが平常だったが、経験を重ね落ち着いてくれば平常の内容が変わってきえていた。そして今、平常心はのんびりゆつくり焦らずに過ごすこと。今はこれが自分の平常心になっている。こんな時出会ったのがこの石仏だった。なんともユニークで観音様の中では親しみのある如意輪観音だ。まるで物思いにふけっているようなポーズは本来は人々を救済する方法を思索する姿なのだが、どうしても今の自分を見ているようで、年齢を重ねた我が身に重ね合わせ気に入っている。秋の夕暮れに夕陽を浴びてのんびり佇む如意輪観音のこの姿こそ、晩年を過ごすための『平常心』の表れとして気楽にのんびり行こうとお杖をついた。

段丘

令和5年度 主な公民館・ 社会教育関連事業

◆公民館学習会

SDGsの視点も踏まえる中で、健康・福祉・人権・自然などをテーマとして、五月から三月まで全十回にわたり講座を開催します。新型コロナウイルスのためこれまで自粛していた身体を動かす講座や、日々の生活に役立つ講座などを予定しています。バスハイク（受講者のみ参加可）では、中野・小布施方面を訪れ、中山晋平記念館や北斎館を巡るコースを計画しています。

◆成人講座

『次世代への提言』（これからの生き抜くすべての人へ）をメインテーマとして、五月から七月にかけて三回の連続講演会を開催します。今年度の講演は、四年ぶりに対面での開催を予定しています。

◆人形劇豊丘公演

二十九回目となる人形劇豊丘公演は、飯田市の人形劇団「DALA」と神奈川県の人形劇団「ひとみ座」の合同公演になります。小さなお子さんから大人まで、みんなで楽しめる舞台をお届けします。（八月二日開催予定）

◆星空観測会

専門家の協力を得る中で、大型天体望遠鏡を使って星の世界を覗いてみましょう。肉眼で見える星の世界とは、また違った景色が楽しめます。夏休み子どもウィークスの中で開催予定です。

◆武田信玄狼煙上げ

毎年の恒例事業となった狼煙リレーを、村民グラウ

ンドを会場に行います。昔の伝達手段を今に伝えるイベントです。是非多くの皆様のご参加をお待ちしています。

◆ゆめスタ

夏休み子どもウィークスの一事業として、ゆめあるてで自習室を開設します。暑い季節に涼しいゆめあるてで、夏休みの宿題や自主勉強に励んでみませんか。

◆文化祭作品展

とおかまつりの翌週、十一月十九日から二十六日の開催を予定しています。公民館グループや個人、小中学校の児童・生徒が制作した作品を展示します。

◆みそ作り講座

郷土食でもあるみそを手作りする講座です。二月、三月頃に仕込んで、半年は

ど熟成させたみそは、手作りの伝達手段を今に伝えるイベントです。是非多くの皆様のご参加をお待ちしています。

◆二十四時間ソフトボール大会

三十五回目となる記念大会は、八月二十六日、二十七日に開催を予定しています。昨年は新型コロナウイルスの影響もあり参加チームが少なくなっていました。今年こそは四年ぶりの開催が期待されます。

◆豊丘村駅伝大会

三十三回目となる大会を、例年通り十一月二十三日（勤労感謝の日）に予定しています。昨年は残念ながら直前での中止となってしまいましたが、今年こそは四年ぶりの開催が期待されます。

を、六月十三日に予定しています。日頃の練習の成果を示す良い機会となりますので、皆さま奮ってご参加ください。

◆「ミニテニスクール」地域学校協働活動の推進

児童生徒の生きる力と地域の教育力向上を目的として、「信州型ミニテニスクール」を運営し、学校支援ボランティアによる学

校活動の支援と「地域学校協働活動」を推進します。

◆中学生のボランティア活動支援

長期休暇（夏休み・冬休み・春休み）の期間中、中学生が自主的に村内の福祉施設や教育施設、イベント等においてボランティア活動を行うことを応援します。

した音楽鑑賞事業を開催します。生の音楽に触れ、心豊かな時間を過ごしませんか。

◆子ども防災学習

夏休み子どもウィークスの中で、子どもたちが災害について学び防災意識の向上を目指す講座を開設します。災害はいつ発生するかわかりません。日頃から常に備えておきましょう。

連載を終えて

桐崎 長一



て思い知らされた。また残念なことに記事化されてから亡くなられた方が何人かおられる。

取材から原稿作成までの手順は下記の通りである。まず人選だが、始めの頃は高齢者施設の担当の方から推薦していただき適任者を選ぶという方法で、初回は四名に登場いただいた。その方法が一巡すると自分では候補者を探すことになり候補者に直接電話するのだが、受話器を取ってもらえないこともありようやく出られることも断れることが多く、数人に連絡してようやく取材の承諾を得るということも珍しくなかった。続いて取材となるが、当方からの質問に対して自由に話してもらい、その要点をメモ書きし、記憶が新しい内にまとめていったが、録音機を使用したことは無い。

文章化の過程ではその方に成りきり、想像を膨らませて文章にまとめるのだが、

い増えた資格を取得し生活の糧とした。三六災害の復興工事でブルック建築を学んだ。産業の衰退と共に職業替えを行った。蚕、染め物、天・搾乳・養豚・ダム建設・電気部品製造

で「こんな上手く纏めてもらいたい」とお礼を頂くこともあり、また記事を読んだ人から「毎月読ませてもらっている。次回は楽しみに」等の感想をいただくこともあり継続する力を得られた。元気な方々の取材から、人それぞれに人生がありそれは時の運、境遇等により定められることも大きい。耐えて懸命に生きてきた証を感じた。物質的には豊かになったが、以前では考えられないような事象が起きている現在を見て、世の中の今後を憂える方が多かった。つらい体験談を口にしたくないこともあったと思うが克明に話していただき本当に感謝である。

このシリーズは百回で一区切りとしたい。この企画に携わることができた村内の地理に詳しくなれたことや、新たな方々と知り合いになったことに感謝したい。

ある歌番組を見ていた時、姉が言った。「私、この人嫌い」。ところが歌い始めると、「この歌、いい！今度カラオケで歌いたい。覚えなくっちゃ」だって（なんとゲンキな）。姉が嫌いと云った歌手は、小林幸子。覚えなくっちゃと言った歌は、『雪椿』。小林のお母さんをモデルにした作品である。雪椿は、厳しい冬に耐え春に真っ赤な花を咲かせる新潟県の県木で、母をテーマにした作品を書いてほしいと小林に依頼されて作詞した星野哲郎は、その雪椿に苦悶を続けた小林の母を重ねた。

苦悶をしてもそんな素振りを見せず、明るく家族を支える母親。命を削って寝る間を惜しんで家族のために働く母親。家族を思い、与えられた環境の中で必死に生きる母親の姿は、過酷な環境から身を守るように小さくかかんで自生する雪椿そのものののである。♪

『雪椿』にまつわる有名なエピソードがある。作曲した遠藤実の家で『雪椿』のレッスンをしていた時のこと。曲の真ん中くらいになると遠藤のピアノがポロツと止まってしまった。小林が「あれ？」と思いつつも、もう一回と最初から始めるが、また止まってしまった。「先生」と顔を覗いたら、遠藤

♪花は越後の花は越後の雪椿♪ 越後という言葉はどこか物憂げで、母の愛とともに胸を打つ。信州信濃と言うが如く、そこに土着性を感じる。その響きに郷愁を覚え、愛郷心を抱く。『雪椿』には小林と遠藤の母とふるさとへの想いが込められている。

平成二十六年九月から始めた『元気な高齢者』が百回に達した。敬老の日特集として何か記事にしようと思案されたのだが、ここまで続くとは正直思っていない。感慨深いものがある。区切りの百回としてこれまでを振り返りたい。

初期の頃は一度に複数の方を取材したので、対象者は合計で百九人（男性六十九人女性四十人）で、最高齢者は九十九歳、平均年齢は九十七歳であった。

今回の振り返りに当たり全てを読み返したが、取材当時のことをまざまざと思い起こすことができた。さりげない表現の中に当人にしてみれば実際は深い思い入れがあるのだろうと改め

①元気な源の基本事項
・規則正しい生活
・食事に好き嫌いが無い
・適度な運動を続けている
・周りの仲間と良く話す
・強い信念を持っている
・過去を悔やまず、苦悶とも思わず常に前向き

②共通事項
・きょうだいが多く
・夫婦で互いに支え合う
・生活の中での関心をその後上手に取り込む

③悲運に負けない不屈の心
・親の死で家に呼び戻され
・連れ合いと死別
④時流に乗り先見の明を込めて職業を選定
・営林署勤務
・戦後、国の制度変更に伴

⑤現役時代に修得した免許、資格、特技が年老いて家計を助けた
・土木施工管理、車両運転
⑥本業の傍ら修得した趣味で新たな生き甲斐とした
・書道、物書き、縫い物、詩吟、写経、塗り絵、三味線、踊り、短歌、川柳
・頭の体操、老化防止
・八十歳を過ぎてから飯田線の駅名を暗記する努力
・漢字の偏を決め書き出す
⑦思い出、教訓等書き留めた自家用永久保存ノート
・恩師の教えを忠実に守った、人としての生き方
・日記、何十年も継続
⑧幸せなことに、好きなことを生涯の仕事にできた
・時計店、草取り
⑨特に強く印象に残っていることは、想像を絶するような辛い状況の中で生活する等波瀾万丈な人生を生きたことに感謝したい。

歌は世につれ～

二十二年

作者も涙した『雪椿』

上佐原 小池 光好

がまんをすれば、きつと来ますよ春の日が♪には、不遇の時代を送った小林への星野の想いも込められているという。実際の歌唱



は滂沱の号泣だった。「どうしよう」と思い、「星野先生」と同席していた星野の方を向くと、星野も泣いていたという。実際の歌唱

を、六月十三日に予定しています。日頃の練習の成果を示す良い機会となりますので、皆さま奮ってご参加ください。

を、六月十三日に予定しています。日頃の練習の成果を示す良い機会となりますので、皆さま奮ってご参加ください。

を、六月十三日に予定しています。日頃の練習の成果を示す良い機会となりますので、皆さま奮ってご参加ください。

を、六月十三日に予定しています。日頃の練習の成果を示す良い機会となりますので、皆さま奮ってご参加ください。

を、六月十三日に予定しています。日頃の練習の成果を示す良い機会となりますので、皆さま奮ってご参加ください。



家々の護り神

笹久保 北澤保穂

最近はどこも新しい住宅に建て替えられて、家屋の構造もだいぶ変わってきた。わたしの家みたくに煤ばけた古臭い建屋に住まっていますと、家の中では仏壇はもとより、座敷の中のお厨子から囲炉裏のある勝手の間には皇大神宮の大森から全国の主な神社のお札を張り付けた神棚があり、恵比寿さまのお祠、三法荒神さまなど、日に何回となくお目にかかることができ、無意識のうちに毎日の息災をこれらの神仏に護られて今日に至っている感じがいたします。こうしたことは別に新しいことではなく、私たちの祖先からこうした環境の中で生活してきたわけですが、考えてみるとこんな中に家庭の信仰というか、民俗信仰の芽生えがあったのではないで

しょうか。

こんなことを思いながら、一家の外に出てみると、古井戸には水神様が祀られており、家の上には同姓の一統が祀る氏神様の祠があり、山道の辻にはお庚申さまを祀り、部落のお不動さまに蛭玉さまや天神さま、道祖神から観音さま。通るたびに手を合わせることはないにしても、なんとなく敬虔な気持ちにならざるを得ない環境が散在しています。わが古屋にお住いのものもろの神さまたちは、日ごろは埃と煤にまみれて年に一度の煤払いか、お日待ちの時ぐらいに清められるだけ。まことに粗末な待遇で申しわけない気がします。が、こうした神域が家庭内にあることは嬉しいことです。大晦日の夜と年頭三日間、珍しく灯明が上がリ、久しぶりに帰省した孫子とともに一年の無病息災を感謝し新しい年もまた幸あれ

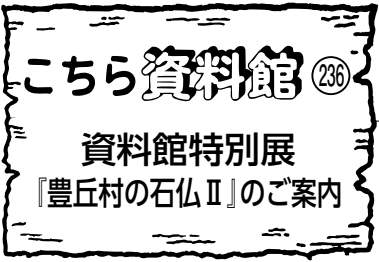
と祈る一刻も、年に一度のかけがえのない楽しみの一つともいえましょう。

山間部落でよく目につくのは、ちよつとした木立のある小高いところにささやかな境内をしつらえて、その奥に素朴なお祠のあるのを見かけます。こうした祭神の多くは山の神や若宮さまのようです。わたしの家にも同姓一統で祀る山の神さまと若宮さまがあります。

年に一度、一族が集まって祭事をするとき、禰宜さまの祝詞のなかで山の神は大山祇の神と称号しているようですが、大山祇の神は元国幣大社、愛媛県越智郡大三島町に鎮座されている大山祇神社の祭神であり、この神さまとよく似た名前の神様に大山咋の神という神さまがあります。この神さまは田村諏訪神社の祭神の二柱にもなっている神さまです。が、この神さまの本拠地は

大津市日吉神社の祭神でわたしたちの山間部に祀られている山の神とは異なっているようです。(以下次号)

（豊丘村民話集・第貳集）
（昭和五十二年）より）
文責：壬生雅穂



昨秋に続き、豊丘村の石造文化財を紹介する資料館特別展を、五月五日（金）

「ゆめあるて」で開催します。今回は「道祖神」「馬頭観音」「地藏菩薩」「六地藏」「観音菩薩」「山道観音」「山岳塔」「供養塔」「名号塔」について村内にある代表的なものを取り上げ、前回と同じ様に写真と武田彦左衛門先生のスケッチで紹介いたします。ゴールデンウィークの終盤から始まる展覧会ですが、大勢の皆さんのご来場をお待ちしています。

とよおかわくわくサイクリング(石仏編) 参加者募集

日時：令和5年5月14日(日)「とよおか旅時間」集合
午前の部：10時～(集合9：45)
午後の部：14時～(集合13：45)

コース：「とよおか旅時間」を出发し、石仏を巡りながら平坦な道を進る約2時間のコースです

対象・費用：小学生以上(小4以下は保護者同伴)
豊丘村民は無料です
(任意加入の保険があります)
定員は各回10名です(先着順)

申込：「ゆめあるて」または「旅時間」窓口を設置された申込書に必要事項を記入してご提出ください

- ・自転車は「旅時間」のものを借ります(e-bikeは台数に限りがあります)
- ・ヘルメットは「旅時間」にもありますが、個人のものをお持ち込みいただけます
- ・詳細は窓口を設置された申込書をご確認ください



移動図書のご案内

五月の移動図書
九日(火) 伴野勤労者福祉センター
十二日(金) 壬生沢福島集落拠点施設
時間 午後八時～九時

村の小中学校教職員異動
学校に新たな息吹
転出・退職

南小学校	渡邊 由紀	東伊那小へ
	笠原亜紀子	赤穂東小へ
	嶋岡あゆみ	上郷小へ
	木下ほづみ	高森北小へ
	平松みどり	松尾小へ
	平沢 由紀	松川中央小へ
	上松そのみ	松尾小へ
	池上 和弘	伊賀良小へ
	岩瀬 恵	松尾小へ

南小学校	小島 正宏	根羽学園より
	田中 美保	飯田養護学校より
	井田 樹乃	岡谷市立湊小より
	原 孝弘	阿智第一小より
	川島 清	売木小より
	西村 美幸	伊賀良小より

北小学校	小林 和子	阿智第一小へ
	原 正幸	大鹿中へ
	奥田 泰典	退職
	三澤 達矢	丸子修学館高へ
	酒井 美枝	豊丘北小へ

中学校	後藤喜美恵	泰阜小へ
	森谷 淳子	丸山小へ
	片桐 史子	豊丘南小へ
	酒井八重子	退職

北小学校	小林 晋	竜東中へ
	小椋 純也	松川中へ
	宮澤 綾	飯田養護学校へ
	江木孝太郎	阿智中へ
	一本鎗美希	木祖村立木祖中へ

南小学校	酒井 美枝	豊丘北小へ
------	-------	-------

中学校	福与 泰安	松本市立波田小より
	北村かをり	喬木中より
	小池 政博	飯田東中より
	岡田 直也	松川中より
	松田 和也	伊那市立春富中より
	今村久美子	飯田東中より
	小林 悟	旭ヶ丘中より
	小原 美保	新規採用

俳句 短歌

走りつきて合格告げる頬ピンク
愛犬の墓ひとみこらして犬ふぐり
暖流のまつかくひかり河津桜

吉川 明子
河手 洋子
北原 昭子

とよおか短歌会

小さき手で餃子にひだをたたみ込む孫らとつくる今夜の一品
夫婦して炬燵に入れば足の向き互い違いに遠慮して出す
友の家近くを通ればさら地なり逝きて三年思いで過ぎる
自分より妻子を先に助けてとトルコの震災救出現場
剪定を終へて今年の柿思い大空あおぐ わざわい無けれど
大原真由美

福澤 貴美恵
福澤 郁文
福澤 郁文
毛涯百合子
福澤 亀人

《豊丘村川柳クラブ豊柳会》

柳

あの時迷った人と暮らす 小澤 凛
あの際のあの決断が分かれ道 林 もも子
居心地の良さが時計を忘れさせ 西元 峯子

軸吟：一日の長さに馴れて老の時

▼課題「分」 互選

あのが分かる嫁子とお茶タイム 市沢 照子
処分する物が多くて手がつかず 久保ひろし
夫婦仲酸いも甘いも分かちあい 福沢 勝美

▼自由吟 福沢勝美 選

宇宙から五ヶ月ぶりの帰還兵 安田 喜子
昔本今はスマホの金次郎 山本 義彦
収入は上がり値上げ農打撃 原 美風
軸吟：マスクとり顔の化粧に念が入り

～シリーズ～ 豊丘の自然

No.231

スギタニルリシジミ・ツバメシジミ・
ヤマトシジミ・ルリシジミ
（シジミチョウ科）

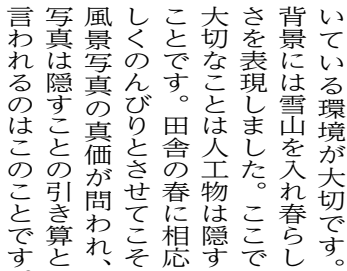


十年前（二〇一四）の四月号でスギタニルリシジミを紹介しながら、「長野県産チョウ類動態図鑑」（一九九九）のすべての種の成虫初見日が早まった時「地球温暖化」を実感として理解するだろうと書いたが、そのスギタニルリシジミが記録を更新（3/26→3/22）した。ツバメシジミも（4/7

↓4/2）。ヤマトシジミにいたっては4/7→3/16と、二十四日も早まった。ルリシジミのように記録更新にならない種類もあるが。さて、初見日と終見日に着目した調査は今後も続けていくつもりだが、気になることがある。それは、気温の上昇には今のところ対応できているが、寒さへの対応はできるのだろうか。人間のように対策や対処の術を持っていないから。（山田 拓



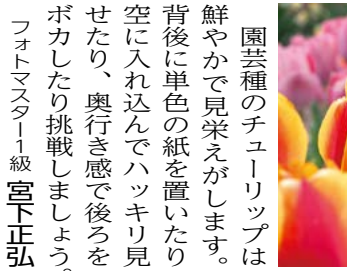
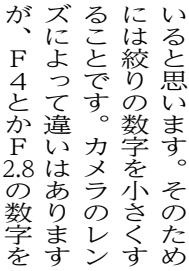
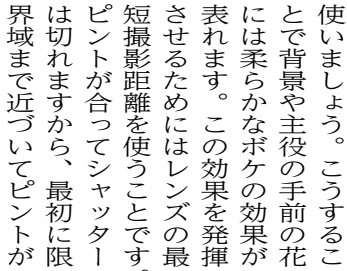
陽射しが少しづつ濃くなり、凍っていた地面からは寒い冬を耐えてきた草花の息吹が、柔らかな葉先を覗かせ萌えはじめます。草花の香りを楽しみながら野の花と向き合います。



か、主役の周りはシンプルにさせることだけです。土手から顔を出したふきのとうもただ花だけよりも、咲いている環境が大切です。背景には雪山を入れ春らしさを表現しました。ここで大切なことは人工物は隠すことです。田舎の春に相応しくのんびりとさせてこそ風景写真の真価が問われ、写真は隠すことの引き算と言われるのはこのことです。



背景の選び方で印象は変わってきます。カメラを構える位置を決めます



園芸種のチューリップは鮮やかで見栄えがします。背後に単色の紙を置いたり空に入れ込んでハッキリ見せたり、奥行き感で後ろをボカしたり挑戦しましょう。フォトマスター級 宮下正弘

新型コロナウイルス感染症の影響で学校行事が延期や中止になり、様々な不安を抱えながら学校生活を過ごされた小中学校の卒業生の皆さん（二四〇名）に、卒業後も「感謝」や「つながり」を忘れず、前を向いて明るく元気に頑張っていくってほしいという願いを込めて、昨年に引き続き卒業生に花束を贈りました。

この活動は、コミュニティスクールボランティアと社協が共に計画し協力して行いました。活動費は地域の皆様からいただいた赤い羽根共同募金の配分金を活用し、赤い羽根共同募金のテーマ「つながりをたやさない社会づくり」あなた一人じゃない」に協調し、地域福祉の事業の一環として取り組ませていただきました。

バラの花束には、ボランティアの皆さんが卒業生に贈るメッセージを考えてくださり、小学生には「友だちを大切に、新しい自分を

見つけて希望に向かって進もう!!」中学生には「夢の実現へ、未来を信じて前へ進んで行こう。」という心のこもったメッセージが添えられました。

卒業式当日、社協の職員が写真撮影のためにそれぞれの学校に訪問させていただきました。

先生方から手渡された花束と、卒業生の皆さんの明るく希望に満ちた笑顔がたいへん印象的でした。

地域福祉課 原 寿美恵

【卒業生に花束を贈るプロジェクト】
「コロナ禍の3年間を乗り越えた卒業生に心を込めて」

新型コロナウイルス感染症の流行で長らく開催できなかった村内のお祭りが、この春各地で再開されています。

河野壮丁おどりは、河野地区の二十歳の若者が、河野大宮神社をはじめ区内を中心に各地で花笠音頭などの踊りを披露するものです。前回は二年前の令和三年に開催されていますが、その時は新型コロナウイルスの真ただ中でした。今年は、七名の

若者が練習を重ねてきました。県外に住んでいる方も多く、全員が揃った練習は難しかったと思われますが、息の合った素晴らしいステージを披露していただきました。

今年の壮丁おどりも、始めは若者からの申し出だったそうです。コロナ禍を経ながらも、地域の伝統芸能・文化が脈々と引き継がれていることが、とても素晴らしいと感じられます。

（公民館主事 菅沼智子）

数年ぶりの春祭り開催
～河野壮丁おどり～
4月1日・2日



新型コロナウイルス感染症の流行で長らく開催できなかった村内のお祭りが、この春各地で再開されています。

河野壮丁おどりは、河野地区の二十歳の若者が、河野大宮神社をはじめ区内を中心に各地で花笠音頭などの踊りを披露するものです。前回は二年前の令和三年に開催されていますが、その時は新型コロナウイルスの真ただ中でした。今年は、七名の

若者が練習を重ねてきました。県外に住んでいる方も多く、全員が揃った練習は難しかったと思われますが、息の合った素晴らしいステージを披露していただきました。

今年の壮丁おどりも、始めは若者からの申し出だったそうです。コロナ禍を経ながらも、地域の伝統芸能・文化が脈々と引き継がれていることが、とても素晴らしいと感じられます。

（公民館主事 菅沼智子）

りんごの摘花
りんごの花は、芽から五つ六つ、まとまって咲きます。全部の花が実になると一つ一つの実が大きくなり、最初に咲く中心部の花を残して、ほかを摘み取ります。これを摘花と

なしの花付け
なしは、違う品種の花粉でないとい受精しないため、人の手で受粉を行うことがほとんどです。この受粉作業を花付けといいます。りんごもなしも、この手作業のおかげで、おいしい実をみのがせることができます。詳細は「とよおかふるさと」の「4月のページ」にてご確認ください。

（産業振興課 中川美術）

とよおか
ふるさとの
れしぴ 4月



山菜の天ぷら

四月から五月にかけてとれる山菜。ふるさとのれしぴでは、素材の味が一番楽しめる天ぷらを紹介しています。うど、たらの芽、こ



狙った花を目立たせるためには、背景の処理が大切となります。空に入れ込んだり背景の暗い部分に入れ込むことでほとんどが解決できるでしょう。そして主役の背景には同じ花や目立つ色は重ねないこと。これも大切なことのひとつです。露出の補正も関わってきて、明るい背景ならプラスの方向へ暗い背景ならマイナス

解放域で撮影する
花のもつ印象とは？このことを考えたとき花びらの柔らかさや薄いことが挙げられるでしょう。全体を力強くさせるよりもほんわかと仕上げたほうが適していると思います。そのためには絞りの数字を小さくすることです。カメラのレンズによって違いはありますが、F4とかF2.8の数字を使いましょう。こうすることで背景や主役の手前の花には柔らかなボケの効果が表れます。この効果を發揮させるためにはレンズの最短撮影距離を使うことです。ピントが合ってシャッターは切れますから、最初に限界域まで近づいてピントが